学校番号	3026

令和8年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	地理総合「世界に学び地域へつなぐ」（二宮書店）						
副教材等	最新地理図表GEO （第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

人間は自然環境の枠を超えて生きていくことはできない。言い換えれば、自然環境をベースに産業や文化等の人間生活が成立している。この視点を常に意識し、授業で扱うテーマの理解・考察に努めてほしい。

◆　授業で学習、考察、議論した内容を授業内容入力シートに記入し、その授業を実施した日の23：59までに学習内容を送信する。
◆　教員から割り振られたテーマについてレポートを作成する。

2　学習の到達目標

◆「知識及び技能」
自然環境（気候・地形）と人間活動（産業・文化）を統計などの地理情報を用いて単体ではなく、複合体として理解・考察する。

◆「思考力、判断力、表現力等」
授業で扱うテーマの背景・事実を整理し、獲得した地理情報をエビデンスに基づき具体的かつ論理的に言語化する。

◆「学びに向かう力、人間性等」
自然環境と人間活動の関係性の中で自らを考察し、国際社会で活躍する将来像に繋がる学習姿勢を獲得する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然環境に関する基礎的事項を人間活動と関連付けながら理解し，その知識を身に付けている。	自然環境・人間活動に対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究するとともに，国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を地理的観点から考察し，国際社会の変化を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	地図とGISの活用	球面上の世界 暮らしの中の地図とGIS 生活圏の課題	a:授業中に実施する小テストや定期考査で確認できる達成度 b:レポートや地図の作成の完成度 c:授業内容入力シートへの提出状況やその内容の充実度	小テスト・定期考査	レポートや地図の作成	授業内容入力シートの作成
	地図とGISの活用	国内や国家間の結びつき 世界からみた日本の位置と領土（日本を事例にした領域の定義を含む）	a:授業中に実施する小テストや定期考査で確認できる達成度 b:レポートや地図の作成の完成度 c:授業内容入力シートへの提出状況やその内容の充実度	小テスト・定期考査	レポートや地図の作成	授業内容入力シートの作成
2	地理的環境の特色	地形と生活文化 気候と生活文化	a:授業中に実施する小テストや定期考査で確認できる達成度 b:レポートや地図の作成の完成度 c:授業内容入力シートへの提出状況やその内容の充実度	小テスト・定期考査	レポートや地図の作成	授業内容入力シートの作成
	地理的環境の特色	産業と生活文化 宗教・言語と生活文化	a:授業中に実施する小テストや定期考査で確認できる達成度 b:レポートや地図の作成の完成度 c:授業内容入力シートへの提出状況やその内容の充実度	小テスト・定期考査	レポートや地図の作成	授業内容入力シートの作成
3	地球的課題と国際協力	地球環境問題 資源・エネルギー問題 人口・食糧問題 居住・都市問題	a:授業中に実施する小テストや定期考査で確認できる達成度 b:レポートや地図の作成の完成度 c:授業内容入力シートへの提出状況やその内容の充実度	小テスト・定期考査	レポートや地図の作成	授業内容入力シートの作成

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度